

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)を受けられる患者さんへ

様

	入院当日 (手術前日) 月 日()	手術当日		手術後1日目 月 日()	手術後2日目～ 退院前日 月 日()	退院日 月 日()
		手術前	手術後			
目標	手術を受けられるように 体調を整えることができる	リラックスして手術までの 時間を過ごすことができ る	・安静にベッドで過ごすことが できる ・痛みを我慢せず知らせるこ とができる	・歩行することが出来る ・尿に血尿がみられない	1日尿量:1.5L～2Lを目安に水分を 摂ることができる (水分制限が無い方)	
検査			・手術後、心電図モニター、血栓 予防の機械を体に装着します (必要時、酸素吸入を行うこと もあります)	・血液検査をします ・心電図モニター、血栓予防の 機械を外します	血液検査を(適宜)します	
治療 (処置)	・入院後、体温・血圧を測り ます ・体重測定をします 夜眠れない場合は 	朝の回診時に点滴の針を入 れ、点滴を開始します	・点滴をします  ・膀胱の洗浄を行うことがあ ります	朝に抗生剤の点滴をし、点滴 は日中に終了となります	回診時、尿の状態をみて医師 が尿の管を抜きます	
薬剤	・普段内服されている薬を入 院時にお渡しください ・眠前に下剤を飲みます	・朝の内服薬は、看護師より 説明させていただきます ・排便を促すために浣腸を します		回診終了後、朝の薬から再開 になります(医師が指示した 薬のみ再開となります)		
食事	・夕食まで食事が出ます  ・夕食後から絶食です(水分可) ・就寝後(22時)より水分は 摂らないでください 	・手術前は食事・水分は 摂れません  	足が動くようになり、お腹の 音が聞こえたら医師の指示 で水分を飲みます	・回診後医師の指示があれば 食事が開始になります ・朝食時間が遅くなるため 軽食になります(パン、牛 乳) ・昼から手術前と同じ食事に なります		術後の経過は個人差があるた め、患者さんの状態によっ ては目標通りに進まないこ ともあります。その都度対 応させていただきますので ご安心ください
安静度	制限はありません 	 	・手術後は翌日の朝の回診ま でベッド上で安静になり ます ・足が動き、お腹の音が聞 こえたら医師の指示でベ ッドを45度まで上げるこ とができます	回診後、医師の許可があ れば、歩行できます		
清潔	自宅で入浴してきていない 場合は、17時までにシャ ワー浴をお願いします			体を拭き着替えます	医師の許可があればシャ ワーに入れます	
説明 その他	・同意書の確認をします (手術、抗凝固剤中止、麻 酔) ・アレルギー問診表の確認 をします ・T字帯(できればテープ 式のオムツ)、和式寝衣各 2枚ずつ持ってこられて いるか確認します	弾性ストッキング(血栓予 防の靴下)を手術前に履 きます (弾性ストッキングは病棟 で用意させていただきます)	・初めて水分摂取する時は 看護師が確認させて頂 きます ・お腹が張ったり、痛み がある時はナースコール でお知らせください	・手術後始めて歩行され るときは看護師が付き 添います ・手術後に体を動かすこ とは回復を促しますの で、歩く練習をしまし ょう ・尿の袋は下腹部よりも 下になるようにしましょう	・尿の管が抜けた後、検 尿カップで尿の量を量 り、尿の色を確認し用 紙に記入してください (初回の排尿は看護 師に伝えてください) ・排尿時に痛みがあ ればお知らせください	・水分(1.5～2L)を 摂ってください ・次回の予約票を退 院時にお渡しし説 明します ・退院後は以下の症 状がみられた場合 は、当院又はかか りつけ医を受診し てください * 38度以上の発熱 が持続している時 * 尿が出にくい時 * 血尿が出た時

なお、患者様の状態に応じて予定が変更になる場合があり
ご不明な点がございましたら、お尋ねください。

主治医()看護師()薬剤師()

北播磨総合医療センター 泌尿器科